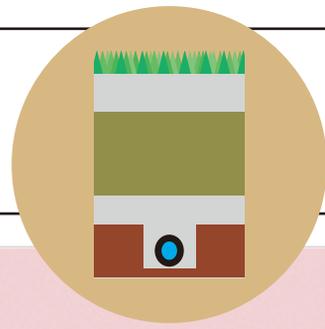


# M 固結・排水構造型



## 特徴

- ・ 水はけが悪い。
- ・ 排水層（礫層または暗渠排水溝）が設けられている。

## 解説

床土として、土（畑土）、マサ土、粒子が細かい砂、崩れやすい砂、角ばった砂などを用いて造成された芝生地で見られるケースです。踏圧によって床土が固結し排水不良を起こしています。基盤排水が整備されていても、上部で水を遮断してしまっているため、排水構造が機能していない状況です。このような状態は、水の移動を妨げるほか、芝に対して根の伸長阻害、耐踏圧性の低下、密度の低下などに繋がります。

## 対策

多くの場合、表層から深さ20cm 付近まで土壌が固結しているため、深層まで届く機械を使用し、締め固まった土壌をほぐす必要があります。有効な作業としては、シャッターリング、スリッティング、ディープエアレーション、ドリルエアレーションなどがあります。これらの深層エアレーションを行うことで上部の排水性が改善され、下部に設けてある排水層が機能します。

また、より速やかに芝生地表面の余剰水を排除するためには、PC ドレーン工法が効果的です。固結の深さや度合い、床土の特性など詳細な土壌調査を行い、適切な作業の種類や施工深度を決定することをお勧めします。

